

# 平成27年度庄原市人権教育研修会

平成27年11月2日（月） 庄原市総合体育館 第2会議室

## 【研修の目的】

「広島県人権教育推進プラン」に基づいた人権教育の在り方及び教育内容・方法を研修することで、各校における人権教育の充実を図るとともに、指導者としての資質の向上を図る。

## 【講話・演習】

「広島県人権教育推進プラン等に基づいた人権教育の在り方」

「人権教育の視点に立った授業づくり」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 佐々木 孝

## ◆「広島県人権教育推進プラン等に基づいた人権教育の在り方」

<概要>

- 国及び広島県、広島県教育委員会の示す人権に係る法律や計画、指針、プランに基づき、人権教育を推進する必要がある。
- 学校における人権教育は、学習指導要領に基づき、各教科等の学習内容を適切に指導することにより、人権尊重の理念に対する理解を深め、体得するよう行う必要がある。
- 人権教育を通じて育てたい資質・能力（三側面：知識的側面、価値的・態度的側面、技能的側面）を明確にし、児童生徒が自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践に移すことができるように推進する。

## ◆「人権教育の視点に立った授業づくり」

<概要>

- ①小学校社会科学習指導案を基に、人権教育の視点を取り入れた授業づくりについて協議した。
- 「人権を扱う教材の内容を教える」だけでなく、各教科等の学習指導要領の指導事項の内容を適切に扱うこと。
- 人権教育を通じて育てたい資質・能力の育成を意図した手立てを工夫すること。
- ②確認した授業づくりの留意点を基に、持参した学習指導案を各自見直し、交流した。
- ③各学校における人権教育の視点を取り入れた各教科、道徳の時間等における実践を交流した。



## ◇「参加者の振り返り」より

- ・全ての教科、教育活動において、人権教育が基盤になっていることを再認識した。校内で再確認したい。
- ・各学校の人権尊重の視点に立った授業づくりが、参考になった。どの教科でも、人を大切にする視点を明らかにしていく。
- ・人権教育の法的根拠について再認識できた。
- ・人権教育について、学校としての組織的な取組の点検・評価を来年度に生かすため、今一度、本年度の取組を見直したい。計画を見直すチェックポイントは有効だと思った。